

# 2019-9-2 鶏 骨髓 久野 裕理

提出機関 農研機構 動物衛生研究部門、日本

症例 SPF鶏 (*Gallus gallus*)、14日齢、メス

病歴 鶏貧血ウイルス (CAV) の2017年国内分離株を1日齢で筋肉内接種。接種後11dpi (days post inoculation) で翼皮膚に点状出血、12dpiで元気消失、13dpiで死亡。

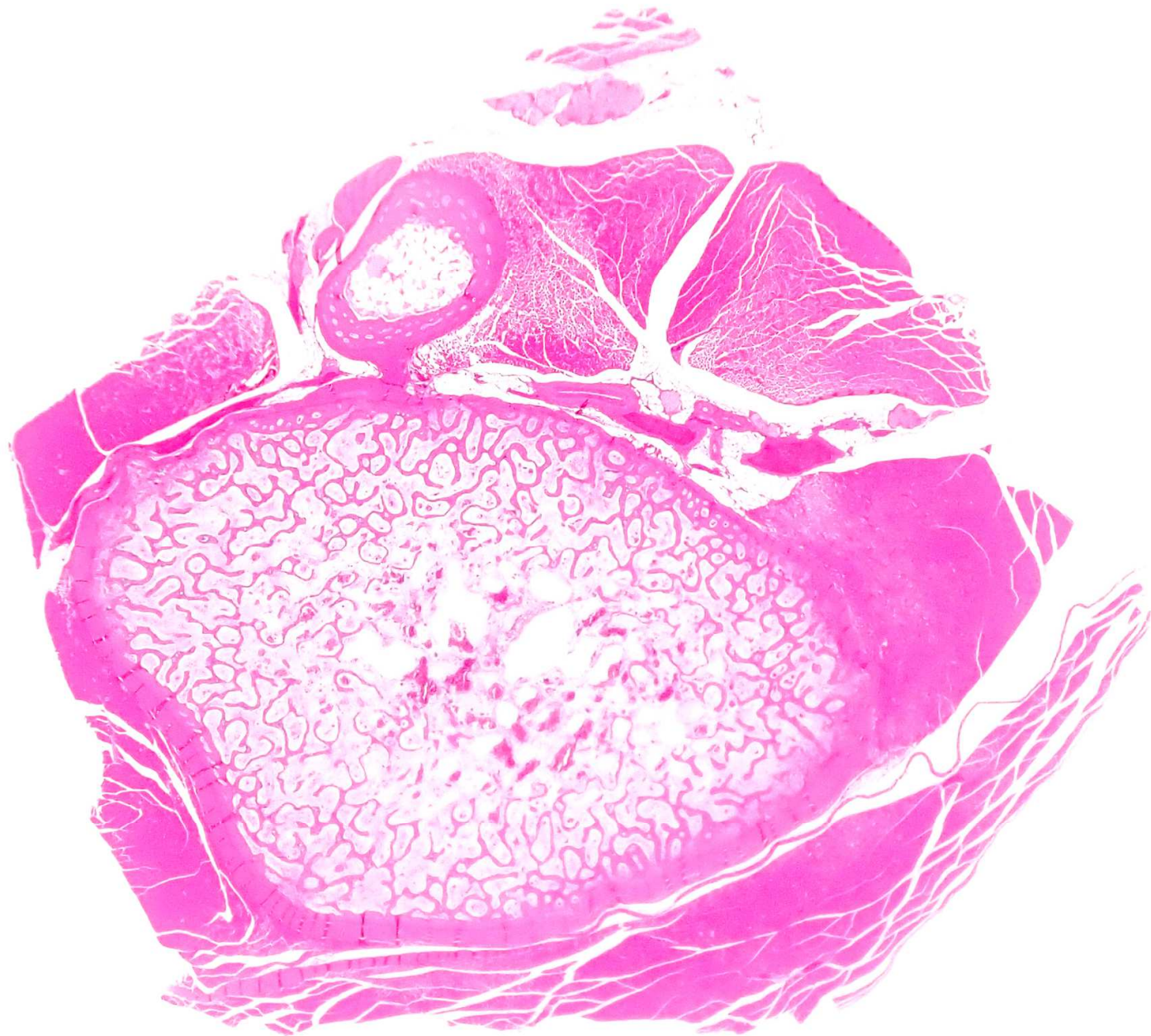
肉眼的所見

- ・ 骨髓、脾臓および腎臓の退色
- ・ 胸腺の萎縮
- ・ 肝臓の腫大

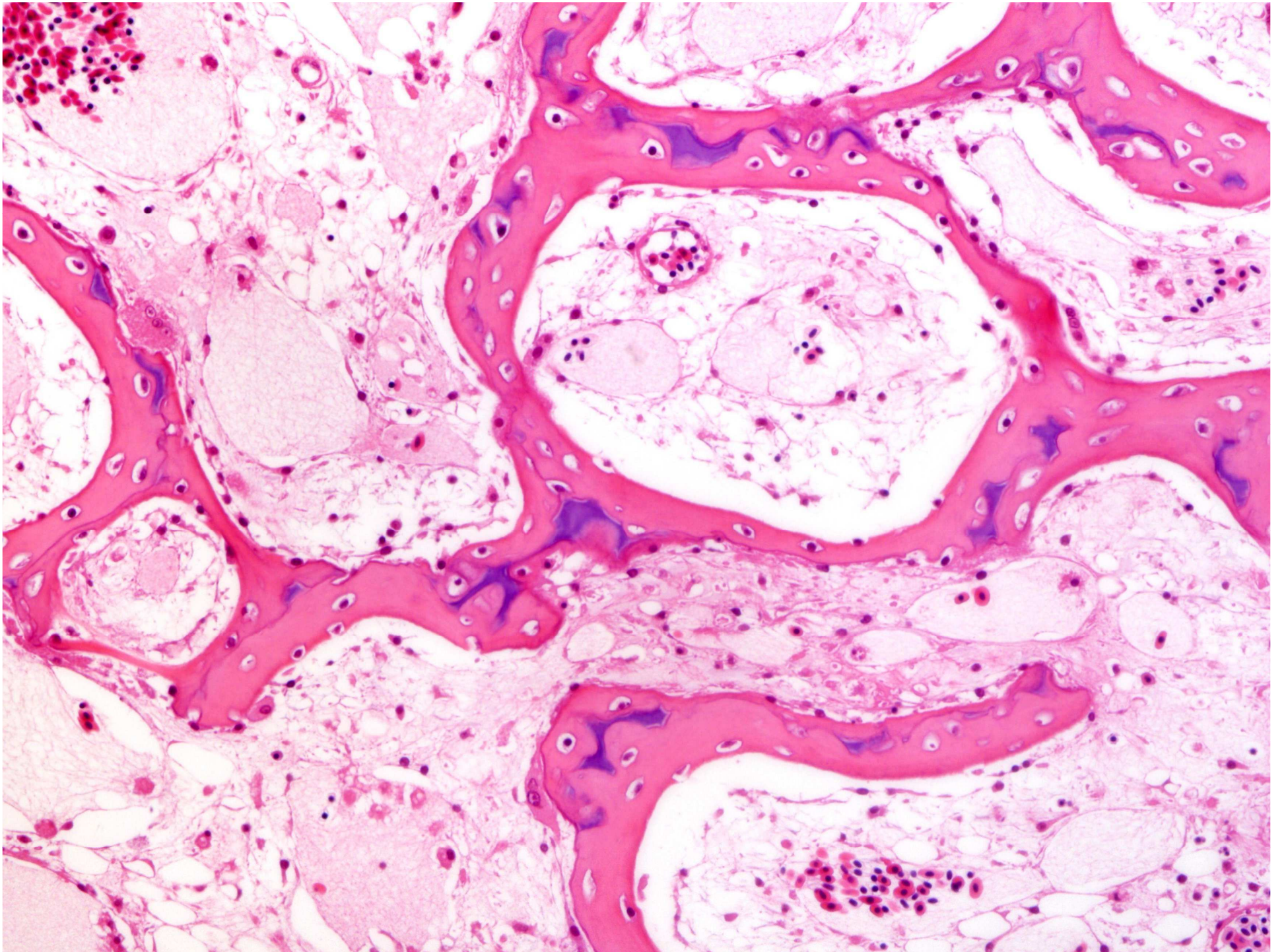
病原検査 肝臓からCAVを再分離



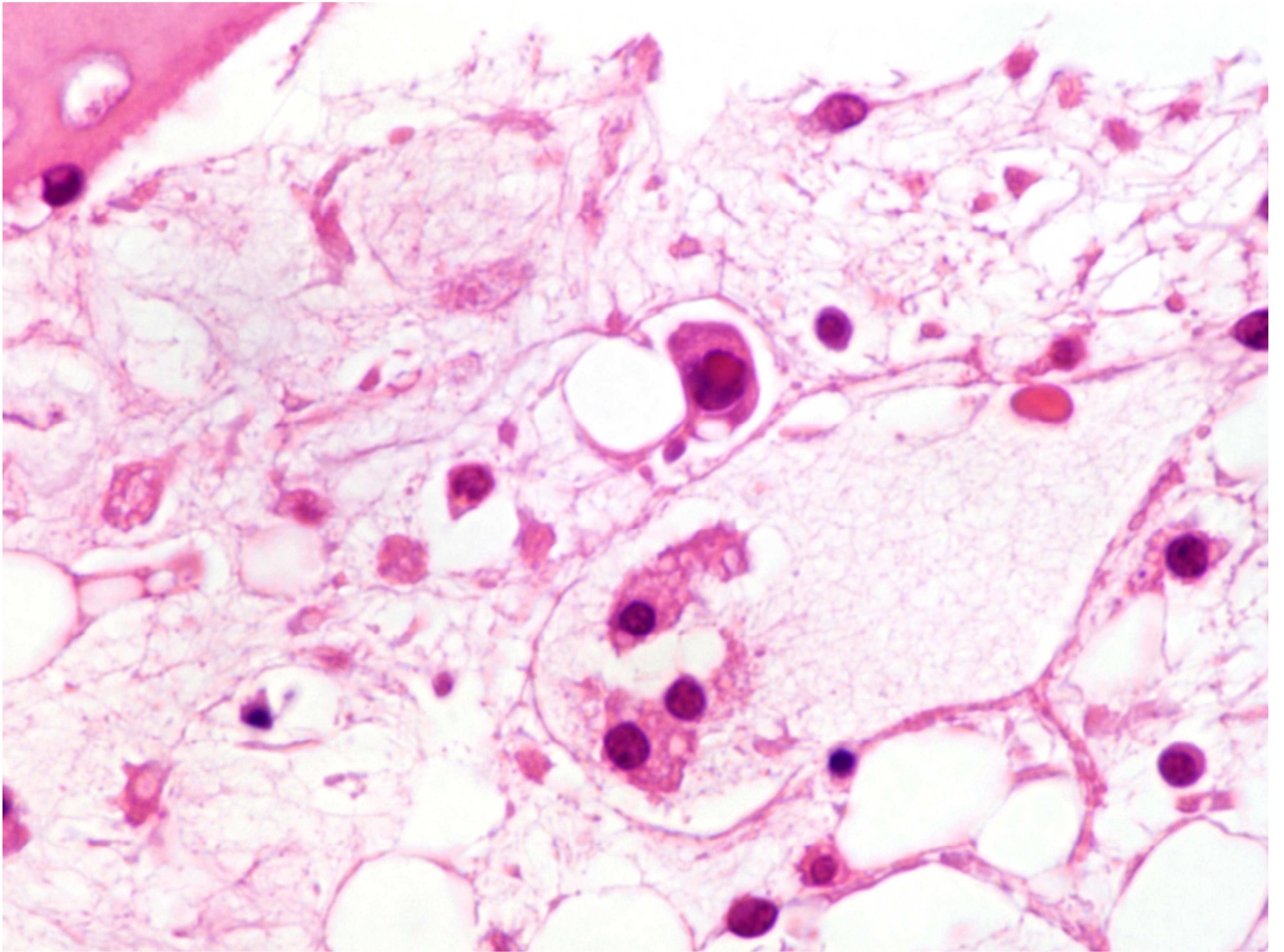












# 診断

## 提出者の診断

骨髓：低形成、重度。

まれに小型の好酸性核内封入体を持つ大型異型細胞を伴う。

Bone marrow: Hypoplasia, severe, with occasional large atypical cells with small eosinophilic intranuclear inclusion bodies.

## JPCの診断

脛骨骨髓：壊死および萎縮、びまん性、重度。

浮腫およびまれに血球芽細胞と破骨細胞に核内封入体を伴う。

Tibial bone marrow: Necrosis and atrophy, diffuse, severe, with edema and rare hemocytoblastic and osteoclastic intranuclear inclusions.

# 鶏貧血ウイルス（CAV）

- アネロウイルス科ギロウイルス属
- 1979年、鶏貧血因子として我が国で分離。世界中の鶏群に分布。
- 介卵感染によりひなが発症。2週齢以上の鶏ではCAV単独感染の場合、無症状で経過。
- 骨髄の血球芽細胞と胸腺皮質のTリンパ芽球が標的。骨髄低形成、胸腺皮質の萎縮により、再生不良性貧血、汎血球減少症の病態を呈する。
- 重症例ではヘマトクリット値が10%以下に低下（正常値：30%以上）。

# CAV実験感染報告まとめ

## ● 1日齢

- ・ CAV筋肉内接種

引用文献

Avian Pathology, 18: 73-89, 1989

Avian Dis 37: 324-338, 1993

Natl. Inst. Anim. Health Q.(Jpn.) 22, 61-69

## ● 14-20 dpi

- ・ 骨髄：血球芽細胞（赤血球、顆粒球系細胞、および栓球の前駆細胞）の著減。  
血球芽細胞と破骨細胞に核内封入体を形成。
- ・ 胸腺、F嚢、脾臓：リンパ球の著減および核内封入体形成
- ・ 実験感染例の約70%が死亡

## ● 16-24 dpi

- ・ 伝染性ファブリキウス嚢病ウイルスなどの病原性を増強
- ・ 免疫抑制に関連した疾患を発症

- ・ トリレオウイルス
- ・ 大腸菌
- ・ コクシジウム 等

## ● ~32 dpi

- ・ 骨髄、リンパ組織の組織変化の回復